



キュウリのいぼいぼは、なぜあるの

いぼは、とげのなごり

キュウリのめ^{ばな}花^さが咲^あき終^{ちい}わり、小^みさな実^みがで^{かんさつ}きはじ^みめた^けころ観^み察^けすると、実^みに毛^けのよう^みに見える、小^{ちい}さいとげ^{ちい}がた^みくさんつ^あいてい^あます。実^みが大^あきくなるにつ^あれて、とげ^あの生^あえた部^あ分^あがふ^あくら^あんで、いぼ^あのよう^あにもりあ^あが^あってき^あます。キュウ^あリの種^あ類^あによ^あってち^あが^あってき^あます^あが、と^あれた^あての^あキュウ^あリの^あ実^あに^あさわ^あると、いぼ^あの上^あのとげ^あが^あ痛^あいこ^あとが^ああ^あります。いぼ^あは、とげ^あが生^あえていた^あなご^ありとい^あえます。

キュウリは、まだ熟^{じゆく}していない^あ実^あを^あ食^あべ^ある

キュウ^あリの原^あ産^あ地^あである、ヒマ^あラ^あヤ^あの山^あのふ^あも^あと^あ近^あく^あには、今^あも、苦^あい^あ実^あが^あなる、野^あ生^あの^あキュウ^あリが^あ見^あら^あれ^あま^あす。長^あい^あ間^あ、さ^あい^あば^あい^あさ^あれ^あて^あき^あた^あた^あめ、今^あでは、さ^あま^あざ^あま^あな^あ種^あ類^あの^あキュウ^あリが^ああ^あり、実^あに^あい^あぼ^あの^あな^あい、つ^ある^あつ^ある^あの^あも^あの^あも^あ増^あえ^あて^あい^あま^あす。

ふ^あつ^あう、野^あ生^あの^あ若^あい^あ植^あ物^あの^あ葉^あや^あく^あき^あや^あ実^あに^あは、と^あげ^あが生^あえて^あいた^あり、苦^あ味^あが^ああ^ある^あも^あの^あ、毒^あを^あも^あつ^あも^あの^あな^あど^あが^あ多^あい^あも^あの^あで^あす。こ^あれ^あは、ほ^あか^あの^あ動^あ物^あに、食^あわ^あれ^あな^あい^あた^あめ^あと^あ考^あえ^あら^あれ^あま^あす。や^あが^あて、実^あが^あ熟^あす^あこ^あろ^あに^あな^あると、実^あの^あと^あげ^あが^あと^あれ^あて^あし^あま^あつ^あたり、実^あの^あ苦^あ味^あが^あな^あく^あな^あり、あ^あま^あく^あお^あい^あし^あく^あな^あつ^あて^あき^あたり^あし^あま^あす。こ^あれ^あは、鳥^あや^あほ^あか^あの^あ動^あ物^あに、実^あを^あ食^あべ^あて^あも^あら^あつ^あて、種^あを^あば^あら^あま^あい^あて^あも^あら^あう^あた^あめ^あと^あ考^あえ^あら^あれ^あま^あす。

ふ^あつ^あう食^あべ^あて^あい^ある^あキュウ^あリは、ま^あだ^あ熟^あし^あて^あい^あない^あ若^あい^あ実^あで^あす。だ^あか^あら、と^あげ^あが^あ残^あつ^あて^あい^あると^あも^あ考^あえ^あら^あれ^あま^あす。キュウ^あリ^あの^あ実^あが^あ熟^あす^あま^あで^あお^あい^あて^あお^あくと、種^あが^あ大^あき^あく^あな^あり、果^あ肉^あが^あか^あた^あく^あな^ある^あた^あめ、人^あ間^あが^あ食^あべ^ある^あの^あに^あは^あ向^あか^あな^あい^あの^あで^あす。(監^あ修^あ・矢^あ野^あ 亮)

